

淑 華 会

shuku - sui - kai

No.20

[2012年6月 発行]

編集発行／北翔大学同窓会事務局

〒069-8511 江別市文京台23番地

TEL&FAX (011) 387-1019 (直通)

E-mail: shukusui@hokusho-u.ac.jp

HP: http://www.syukusuikai.com

住所をお知らせください

同窓会にとって名簿は命とも言えます。ぜひ、ご協力をお願いいたします。
個人情報の取り扱いについてはあらかじめ定めた利用目的の範囲内で必要な限りにおいて利用します。また、法令に定められている場合を除き、同窓生の皆様の同意を得ることなく、個人情報の第三者提供を行いません。

携帯からもアクセスできます▶



先輩ありがとう

— 今だからできること —

同窓生の皆さんに寄付をいただいて、「夏休みフレッシュプログラム」と「東北災害復興ボランティアツアー」の支援活動に参加してくれた学生の感想です。同封しました淑華会臨時号を合わせてご覧下さい。

新たな支援に向けて 今思ふこと。

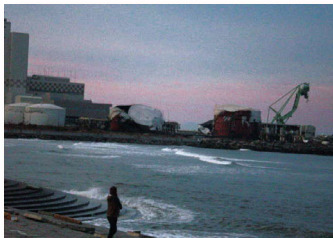
芸術メディア学科 4年
桑名 勇輝



もう1年4カ月が経ちました。昨年3月11日のあの映像は今もまだ目に焼きついてます。しかし、あの時の感情を本当の意味で覚えている人はいらっしやるのでしょうか。

私は、昨年のG.W.と8月末に約1週間ずつボランティアに参加しました。G.W.は「何かなければ」と単身福島に飛びました。ですが、あの時の感情を今は、思い出せません。

感情はナマモノです。一番強かった感情の抜殻だけが残って、中身の無い言葉に変わってしまう。



今、ボランティアのニーズはあの時とは違います。震災直後にはたくさんいたボランティアの人々も今やほんの少しにまで減ってしまいました。一度だけではなく、何度もできる限りボランティア活動に参加することが大切だと思います。

あるんです。そこに目を向けていくことが、これからの僕達のできることです。

「役立つ力」となること

学習コーチング学科 2年
米谷 智成

私は昨年いくつかのボランティア活動に参加しました。すべてがあの震災に関するボランティアです。

そのボランティアを通していくつか感じたことがあります。それは、まだまだ復興には時間

支え合い

福祉心理学科 4年
中山 皇太

この感じた事を、微力ながらも「皆さんへの役立つ力」となるように行動していく事が今後の課題だと、考えています。

東日本大震災という大きな災害が起きた時、様々な方が被害にあい、苦しんでいるのを見て、何か自分に出来ることはないのかと深く考えました。しかし、自分にはなにもできないのでは



ないかと考えていました。その時、「夏休みフレッシュプログラム」という企画があることを聞き、迷わず参加しました。子どもと接してうちに、何気ない子どもたちの悩みや苦しみや辛さを聞くことができ、それを聞いて自分には、なにができるのかと考えた時、自分ができるのは、今を楽しんでもらうことだと思いました。確かに私は無力でちっぽけな存在ですが、それでも子どもたちを笑顔にしてあげればとその思いだけでした。同じ泊まり込みのボランティアの2人と協力して、子どもが楽しめるようにと活動しました。その2人もやはり私と同じ悩みを持っていました。最後にみんなで駐車場に書いたパズルピースに今の気持ちを好きなように書いて行けた時ほとんどの子が「ありがとう」「楽しかった」という言葉を書いて、それを見た時ほんとにこの企画に参加して良かったと感じました。たった一週間しか一緒にいれなかったですが、私にとってその1週間はほんとにかけがえのないものになりました。今でも子ども達と楽しく遊んだのは最高の思い出です。別れのときにはみんな泣いてました(笑)。

今現在も、現地の状況は良くなっているわけではなく苦しんでいる人がたくさんいます。僕はこの活動を通して、自分に来ることはあるのだと深く感じました。誰もが無力なのではなく、必ず一人一人に出来ることはあるのです。大事なのはそれを見つけ、実行する力だと感じました。

自分にとって、良い思い出にもなり、これからの糧にもなった活動でした。感謝してもきれません。ありがとうございます。

第2回 リフレッシュ プログラム 実施決定!

昨年に引き続き「夏休みフレッシュプログラム」を8/11(土)～21日(火)の9日間(予定)実施します。

外でまだおもしろい遊び場がない子ども達に少しでも遊びと楽しめる時間を持つてほしいと思っています。そのための資金として皆様からの寄付をお願い致します。

一人でも多くの同窓生の思いやりの気持ちを福島の子供達に伝えませんか。ご協力よろしくお願い致します。

寄付金のお願い

— 今年も福島の子供達に来てもらいたい —

金額：一口 2,000円 (何口でも可)

目標金額：各年度 100万円

期間：皆様のお心をいただけるまで

同封の振り込み用紙を使用して下さい。

臨時号発行後の寄付総額は259,730円です。

「ご寄付いただいた方」

1月16日現在

ゴシマミチコ、サイジョウリョウコ、オクタアケミ、ノシロアケンタ・タイキ、サトウナオミ、ソトザキヒロエ、コマツアヤコ、フジオカタカコ、ナカヤマチヅコ、シオイリユキコ、カマクラマナミ、カトリトモコ、クドウシオリ、シマザキカズエ、コンノジュンコ、エビナショウ、カミジヨシエ、アンセレイコ、ニシザカキヨミ、ムロタノリコ、タケイヨシコ、シブヤヒロコ、ソトザキヒロエ、ナガイクミコ、オガサワラミエロ、ナカヤマチヅコ、コダマケイコ、ヤマザキナルミ、ヒラノカオル、シマザキカズエ、サイトウリュウタ、恵彩会、杉澤朋子、棚沢かほる、本松由美子、野口幸子、中川貴美子、岩館礼子、牛木志津子、佐々木和代、今城弘美、前川綾子、佐藤美紀、工藤紀子、佐藤史子、工藤里美、遠藤秀子、成田和江、渡会美由紀、鎌倉真奈美、日角育美、村上和子、菅原友里、滝沢恵子、山田裕子、稲田友子、廣瀬真澄、下村美津恵、佐藤智子、山本久美子、森谷端香、福田沙恵子、鈴木加知子、細川潤子、斉藤秀幸・香澄、医療法人 稜歩会、松戸由美子、福田悦子、今野順子、奥山留以子、西坂きよ美、宮武理恵、菅生陽子、渡邊宏美、福田沙恵子、雁田美知子、杉村暎子、飯沼美智子、一条ひとみ、谷本靖子、神村恭子、佐藤絹恵、杉本公子、福澤久留美、武田敦子、渡辺智美、鹿毛邦子、佐々木啓子、尾崎実枝子、加藤まり子、かとう印刷 かとう禮子、岩館礼子、小松朋子、伊東加代子、白髭瑞恵、加賀谷恵利子、戸松恵子、伊澤十四子、松田啓子、小関恵美、北川裕子、日光佳奈子、田上広子、奥村伸子、三宅道子、渡部康子、南部ゆみ子、柏木恵久子、斉藤幸子、曳田圭子、木尾美恵子、山縣和子、中川弘子、藤間裕子、前原邦子、中島敦子、渡辺久美子、栗林久美、小林まゆみ、井形弓子、鈴木由美、森田ひとみ、室田憲子、早勢陽子、松野陽子、駒形泰子、塩入由紀子、山本恵津子、卜部しずえ

たくさんのご寄付ありがとうございました

敬称略とさせていただきます

みんな
で
エールを送ろう

活躍する 同窓生

札コレ プロデュース

端谷 真子

服飾美術学科 (平成9年卒)
株式会社エンタープライズ 取締役



模や、テー
マに添っ
た「スー
ズで安全
を第一義

とした運営」を目指し、各
種イベントやコンサートな
どの受付・誘導・設営・撤
去業務から、広告宣伝スタッ
フなど、ニーズに叶った人
材を豊富な人材ネットワー
クから提供する会社の取締
役です。
サッポロコレクション (20
12)
Mr. Children コンサート
BUMP OF CHICKEN コン
サートに関わっています。

お寺の金紙絵製作

袴田 睦美

工芸美術科専攻科 (昭和57年修了)

千歳市 真光寺の本堂改築
に伴い、本尊周辺の金紙絵等
の製作を手掛けました。

昨年8月には、OB会多年
草の研修として、真光寺に見
学に行ってきた。



ものづくりを通して

鈴木 千尋

生活福祉学科 (平成15年卒)



私は山
形県出身
で、在学
中は、学
部の勉強
と同時に
絵画や彫刻、舞台美術の制作
に取り組みました。卒業後は、
高齢者福祉施設・病院勤務の
のち、ニューヨーク州立大学
プラッツバーク校にて美術を
学び、現
在は、主
に山形
と北海
道を拠
点に、フ
リーの
アーテ
ィストと
して活



ともだちハウス

として活

日本画界の新星

蒼野 甘夏 (佐藤 史子)

工芸美術科 (平成5年卒)



学生時
代を終え
てからは
ばらばら
制作から
遠ざかっ

ていまして、もう一度描き
たいという気持ちで募ってい
た頃、同校の元教授であり日
本画コースのOG会「多年草」
を率いる伴百合野先生に再会
しました。卒業後10年以上
経ってからの再入門であり、
しかも短大で学んだ科とは違
う道でしたが、先輩達にも助
けられ一から勉強しなおすこ
とができました。発表を続け
ることでいくつもの賞を頂く
こともできました。現在は講

同窓会室前に 作品展示

淑萃会OB会多年草にお願いし、定
期的に作品を同窓会室前に展示し
ております。今回は石田眞理子さんの
作品が展示されています。

機会がありましたら、是非
ご覧下さい。

「予感」彼の宇宙(そら)」

石田眞理子

工芸美術科専攻科 (昭和56年修了)

卒業後、道展を中心に活動
しています。

本作は、昨年の個展出品作
に今回加筆したものです。

この10年「少年の時間」を
テーマに描き続けています。
特定の個人ではなく、誰にで

電子音楽で世界へ

石垣 亮

芸術メディア学科 (平成23年卒)



11年、
大阪芸術
大学主催
による国
際電子音

楽フェスティバル「Audio
Art Circus」に出品し、優良
作品・海外推薦作品に選ばれ、
イタリアの国際電子音楽音楽
フェスティバル「Silence」
にて発表されました。
2011年にNHK北海道主
催のファッションショー「札幌
ファッション・レポリユーショ
ン」に「KAORU TAKIYA」
ブランドの楽曲提供を行いま
した。



「活躍する同窓生」の情報
をお持ちの方は、自薦・他
薦を問いませんのでご連絡
お待ちしております。

野球部発足 10 周年記念 祝賀会 開催される

23 年 10 月 22 日。京王プラザホテル札幌に於いて野球部発足
10 周年記念祝賀会が、総勢 167 名の出席で盛大に行われました。



淑萃会では、卒業しても継続的に作品制作、スポーツ、
研修会等の活動をしている OB のみなさんを応援してい
ます。現在は、9 団体が活動しています。

お詫び

前号 No.19 の 3 ページで「同窓会 OB 支援として」の選手の名前と
写真が逆になっておりました。正しくは左の写真が平山友梨香さんと右
の写真が宮武祥子さんです。

謹んで訂正いたしますとともに、読者および関係者の皆様にご迷惑を
おかけしたことを心よりお詫びいたします。

入会のおさそい こんにちは 淑萃会OB会養護教諭部会です

養護教諭部会は、北翔大学同窓会淑萃会OB会の一つ
です。また、北海道女子短期大学であった頃の、保健
体育科養護教諭コースの卒業生で現職養護教諭の会と
して、昭和59年に設立されました。現在は、全道、全
国で働く約1000人あまりの会員で構成されています。

この会の活動としては、毎年名簿を作成し、会員の手
元に届けることで、会員相互の交流を図ることを行っ
ています。この名簿があることで、自分の近くで、そして遠
くでたくさんの同窓生ががんばっていることを知ること
ができ、大変心強いものになっています。また、このたび
の東日本大震災においては、この名簿が安否確認や支援
を行う上でも大いに役立つなど、同窓生の力になること
ができました。

会員には現職養護教諭の他に、代替教諭など他の職に
ある方や退職した方もおり、特別会員として入会してい
ます。今後、養護教諭や他の職に就いたときに、是非この
会のことを思い出していただきたいと思います。

養護教諭部会の事務局は札幌市内の会員により毎年
交代で運営しています。お問い合わせは、淑萃会事務局
までお願いします。そこから年度の養護教諭部会事務
局につながります。

同窓生同士のつながりは、日々の職務の励みとなり力
になります。
ともに支え合いながら、がんばりま
しょう。入会、お待ちしております。

【淑萃会事務局】
Tel・FAX: 011-387-1019
E-mail: shukusui@hokusho-u.ac.jp



* 養護教諭部会創設に関わった1期生の滝沢恵子さんの
原稿です。

学生表彰受賞者



平加有梨奈



スポーツ教育学科
陸上競技走幅跳

村田愛里咲



学習コーチング学科
フリースタイルスキーモーグル競技

細田将太郎



スポーツ教育学科
スキージャンプ競技

大和田 真



スポーツ教育学科
スケート競技

スケート部スピード部門 男子



スケート競技団体

通園バック製作会



今回は H25 年 2 月末開催予定

積極的に地域との関わりを持ちたいと、入園予定のお母さん達を
対象に通園バックと絵本袋の製作会を開催し今回で 6 回目
が終了しました。

講師は本大学の富田玲子准教授と大信田信子准教授です。
「託児もあり、子どもの動きを気にせず集中して作れました」「型
紙からしっかり教えていただき、想像以上の物になりました」等、
参加者の方から喜ばれております。

手作りのかばんで通園する子供たちの喜ぶ姿が目に見えようです。



※対象は第二大麻幼
稚園入園予定の保
護者です。

●●●●平成24年度代議員会報告●●●●

3月31日(土)開催

〈審議内容〉

- 23年度事業報告及び会計決算報告
- 24年度事業計画及び会計予算案報告
- その他

平成23年度決算書&平成24年度予算書

一般会計 (単位:円)			
	項目	23年度決算	24年度予算
収入	会費収入	24,292,440	24,000,000
	雑収入	73,000	—
	利息	2,435	3,000
	前期繰越収支差額	12,323,796	12,145,526
	収入合計(A)	36,691,671	36,148,526
支出	I 大学支援		
	大学支援	1,058,362	4,000,000
	学生		6,000,000
	II 事業		
	OB会・OB会費	973,218	1,200,000
	研修	479,557	1,000,000
	機関誌	2,620,214	3,100,000
	H-P管理	85,420	100,000
	入会式	888,610	1,000,000
	支部	1,106,577	1,500,000
	III 管理		
	震災関係	2,135,776	1,500,000
	会議	314,533	400,000
	慶弔	376,048	500,000
	印刷	207,040	300,000
	通信	217,844	300,000
	運営・活動	3,640,709	3,700,000
	消耗・雑費	182,502	200,000
	備品	209,525	200,000
	IV 予備	50,210	1,000,000
	V スポーツ文化課	10,000,000	—
	VI 積立金	—	5,000,000
	支出合計(B)	24,546,145	31,000,000
	次年度繰越収支差額(A-B)	12,145,526	5,148,526

1. 積立金 (単位:円)			
	項目	23年度決算	24年度予算
収入	一般会計より	—	5,000,000
	利息	35,245	50,000
	前年度繰越金	60,726,216	60,876,216
	収入合計(A)	60,761,461	65,926,216
	支出	予定なし	—

2. 募金(寄付)			
	項目	23年度決算	24年度予算
収入	一般会計より	—	1,500,000
	寄付・利息	291,012	—
	前年度繰越金	61,739	352,751
	次年度繰越金	352,751	1,852,751
	収入合計	641,502	2,705,502

3. 奨学金特別会計			
	項目	23年度決算	24年度予算
収入	貸与者返済	2,931,850	3,284,900
	雑収入	7,070	1,000
	一般会計より	0	0
	前年度繰越金	17,192,413	19,550,953
	収入合計(A)	20,131,333	22,836,853

4. スポーツ・文化振興会			
	項目	23年度決算	24年度予算
収入	会員より寄付	393,000	—
	一般会計より	10,000,000	—
	利息	2,533	2,000
	前年度繰越収支差額	14,385,874	15,311,202
	収入合計(A)	24,781,407	15,313,202

支出			
	項目	23年度決算	24年度予算
支出	1. 外部コーチ 陸上 2名 ジャンプ 1名		2,000,000
	2. 創立50周年事業 サブグラウンド設置費用		5,000,000
	在学生関係	2,310,658	
	部・サークル活動	1,749,229	
	大 学	1,656,154	

支部会報告

平成23年度も各地で支部交流会が開催されました。

8月7日
釧路支部
「釧路全日空ホテルにてランチ」

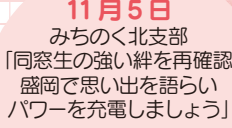


10月1日
関東支部
「銀座花郷にて食事会」

10月8日
根室支部
「そば打ち体験と打ち立て試食会」



10月22日
帯広支部
「料理に合うワインを学ぼう～フレンチレストラン オランジュにて～」



11月5日
みちのく北支部
「同窓生の強い絆を再確認 盛岡で思い出を語らい パワーを充電しましょう」



10月29日
みちのく南支部
「ホテルメトロポリタン仙台にて食事会」



平成24年度支部交流会予定

7月22日(日)	北見支部交流会 手作り講習会(ボディークリーム)	10月13日(土)	根室支部交流会 鮭の缶詰作り
9月1日(土)	釧路支部交流会 どんばくの火花を観よう!	10月20日(土)	帯広支部 内容 未定
10月6日(土)	関東支部交流会 折り紙講習会	開催日未定	みちのく南支部交流会

～皆様のご参加をお待ちしております。～

第3回 北翔大学 現職教員研修会開催のご案内 (本学卒業生対象)

- 記
- 開催日時 平成24年8月11日(土)
北翔大学にて
13:00～(終了後17:00～親睦会)
 - 内容 卒業生による講演・学校種別分科会・研修会、親睦会共に会費無料
 - 申込締切 平成24年7月25日(水)
 - 申込方法 本学ホームページをご覧ください

お問い合わせ先: 北翔大学 教職センター ☎011(387)4082 E-mail kyosen@hokusho-u.ac.jp

日本健康相談活動学会 第9回 学術集会

テーマ 健康相談活動における養護実践の基盤を探究する(仮)

期日 2013年3月2日(土)・3月3日(日)

場所 3月2日: 北翔大学北方圏学術情報センターポルト(PORTO) (〒064-0801 札幌市中央区南1条西22丁目1番1号)

3月3日: 北翔大学 (〒069-8511 江別市文京台23番地)

●1日目と2日目の会場が異なりますのでご注意ください。

学会長: 今野 洋子 (北翔大学)

北海道で初めて、日本健康相談活動学会 学術集会を開催いたします。子どもの心とからだをまるごと受け止める養護教諭の健康相談活動について、養護実践の基盤とは何か、ともに深く考えることができたかと考えております。

みなさまのご参加を心よりお待ちしております。



日本学術振興会 ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI

現在活躍している研究者の研究成果の一端に小・中・高生が触れることで、日常生活と学術の関わりや研究の意義を理解するプログラムです。

保健室の先生(養護教諭)になっちゃおう

日時 7月21日(土)・7月22日(日) 北翔大学オープンキャンパスと同時開催

1日だけでも2日とも参加してもOKです。昼食は学食で無料で食べられます。

小学生・中学生10:00～受付 10:30～11:30、
中学生・高校生12:30～受付 13:00～14:40

当日の主な内容

1. 科学研究費と本事業の説明
2. 研究成果の紹介
3. 実習補助学生のデモンストレーション
4. 参加者のみなさんの「養護教諭体験」(必ず実習補助学生がつくので、安心して体験できます)
5. 小・中学生: バイタル測定
6. 中・高生: スペシャルカード作成
7. 未来博士号授与

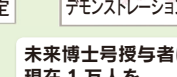
企画代表 人間福祉学部 福祉心理学科 教授 今野 洋子(いもの ようこ)

定員 40名 申し込み〆切 7月20日(金)

お問合せ
お申込先

北翔大学企画部教育研究支援課
千広 敦子(ちひろ あつこ)
TEL: 011-387-4158 FAX: 011-387-1542 E-mail: research@hokusho-u.ac.jp
修了証書を準備しますので、事前にお申込みください。

保護者の方も一緒にどうぞ



未来博士号授与者は、
現在1万人を
超えました!



「見える喜び」、

私にも、実感できた。



いつまでも快適な視界 視力回復LASIK

一人ひとりのライフスタイルに最適な視力回復手術を提供しています。メガネ・コンタクトレンズに代わる第三の視力矯正方法として選ばれているレーシックや、「遠くも近くも見える」ようになる老眼白内障治療など、一人ひとりに最適な治療法をご案内いたします。



野球解説者 梨田 昌孝さん

右眼0.4→1.5 左眼0.4→1.5

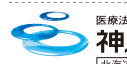
手術後、一番驚いたのは「視界の端のほうまでよく見える」ということ。もし現役時代にレーシックを体験していたら、もう少し打てたかもしれませんね(笑)。

淑萃会
限定特典
2013年6月末までに
手術を受けられる方が対象

国内症例数 No.1 世界にひとつ、オーダーメイドのレーシック
プレミアムアイレーシック®
<トータルケアサービス>

35万円 → 32万円 (両眼税込)

※対象術式の詳細など、特典内容につきましては、お客様相談センターまでご相談ください。
※ご予約時に「淑萃会特典」とお申し出いただき、手術日までに必ず本誌をご持参ください。
※内容は2012年6月15日現在のものです。変更になる場合がありますのでご了承ください。



医療法人社団 視歩会
神戸神奈川アイクリニック
[北海道・札幌] 札幌市中央区南1条西4-20-5 札幌エスワンビル3F

◎お電話からのお申込み・お問合せはこちら

0120-049-035

◎ホームページからのご予約・お問合せはこちら

http://www.kobe-kanagawa.jp



合縁奇縁

あの震災から1年4か月たった今、皆様の心の中でのどのような位置にあるのでしょうか。特に被災地から遠くに暮らす者には日常にかまけてどんな中心から外れていていせんか。福島の子ども達を取り巻く環境は1年前よりもっと別な意味で深刻な状況になっています。彼らが背負わされたリスクをたった九日間なのですが、私達にも分けてもらいたいとの想いがこもった企画、賛同をいただきたいと思います。

日本人として、また、愛と和の精神のもと、本学で人生の基礎を培った同窓生として淑萃会の心意気をもって継続したいと願うものです。

皆様からいただいた御寄付については、前段に紹介した志の高い学生達の背中を押し続ける力にもなっています。先輩と後輩が一緒に何かに向かう姿は、母校の永遠を約束する確かなものを作り上げていくのだと思います。

さて、来年本学は創立50周年を迎える事になりました。創立者、故浅井淑子先生の心を、想いを受け継いだ私達同窓生は感謝の念を込めお祝いが出来る事を強く願います。

来年度の記念式典開催の折りは一人でも多くの同窓生が集まれるよう知恵を絞って提案できるように精進していきます。

会長 伊藤みどり